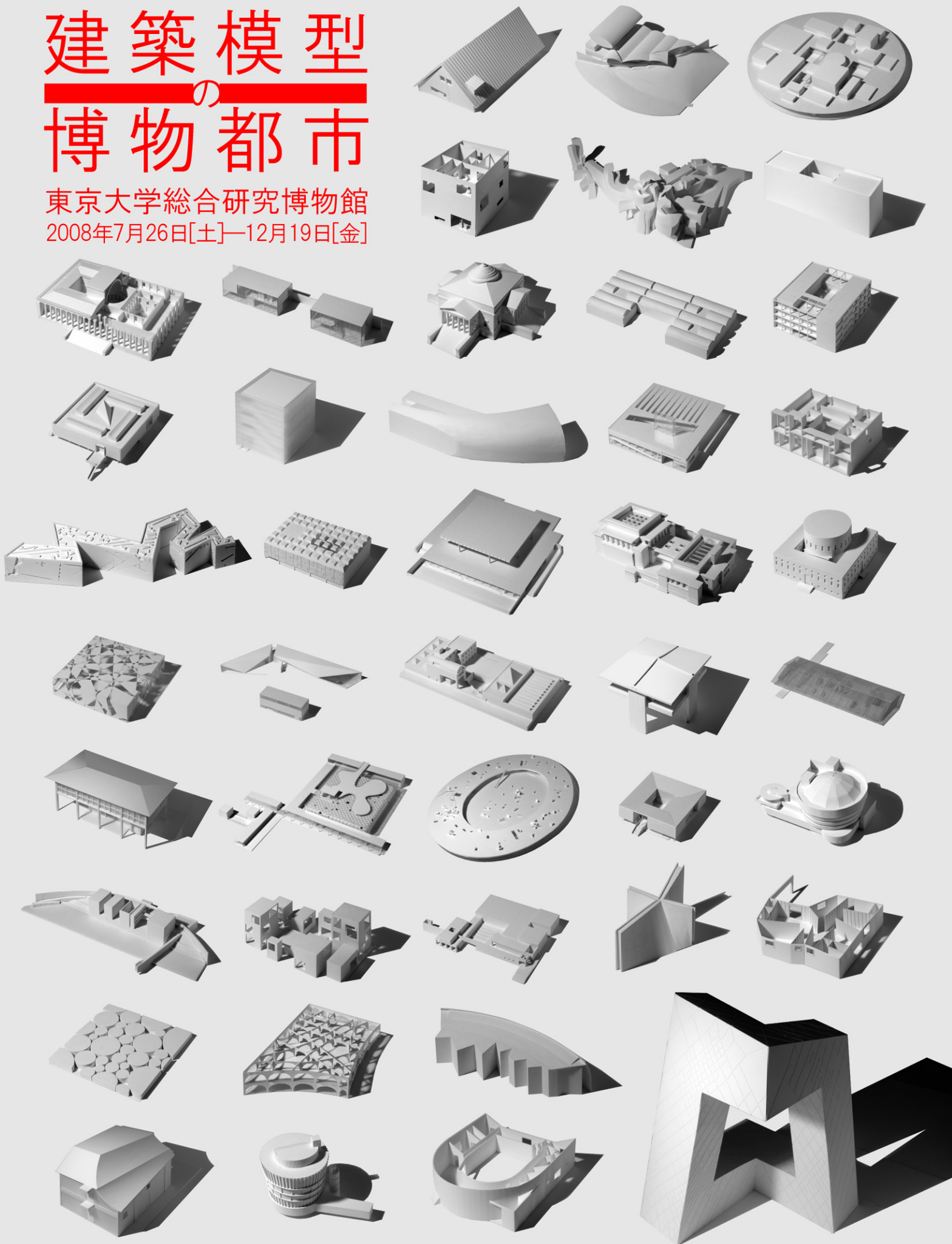


特別
展示 UMUTオープンラボ

建築模型 の 博物都市

東京大学総合研究博物館
2008年7月26日[土]—12月19日[金]



www.um.u-tokyo.ac.jp/openlab/

UMUT OPENLAB : A MUSEUM CITY OF ARCHITECTURAL MODELS THE UNIVERSITY MUSEUM, THE UNIVERSITY OF TOKYO

UMUTオープンラボ ——建築模型の博物都市 展

開催要旨

東京大学総合研究博物館では、学内に蓄積された学術標本を社会に還元すべく、これまで70以上の公開展示を行って参りました。「収集保存」という博物館の基幹機能に加えて、「創造再生」という未来型ミッションを試行するために、このたび「UMUTオープンラボ」※という公開ワークショップ形式の展示を企画いたしました。大学における教育研究の成果を新たな博物資源として制作し、その生成過程を公開しながら進行する動態創成型の展示を目指しております。展示室を成果物鑑賞の場に、さらには研究・創造・交流の発生現場に仕立てます。オープンラボは、当館が行ってきた次世代ミュージアム実験の新しい展開と位置づけられています。

オープンラボのテーマとなるのは「建築」です。数々の建築模型を集散的に展示することで、建築の多様な存在形式を俯瞰的に一覧することを目標にしております。建築模型は大きく3種に分けられます。ルーヴル美術館以降の近現代ミュージアムの模型、古典から現代に至る内外の有名建築の模型、未来志向の提案型建築の模型があり、模型総数は最終的には150を越える見通しです。展示される建築模型の大半は東京大学の学生が中心となって制作を進めて参りました。他校関係者、建築模型専門家、当館教員により出品される模型もございます。展示室中央に活動拠点としての「ラボスペース」を設け、開催期間中も建築模型の制作を継続するとともに、ワークショップやレクチャ等の参加型イベントを同一空間内で実施していく予定です。

「建築模型の博物都市」とは、模型でつくられた仮想都市を企図したものです。模型という形式に縮約された多数の建築が、現実と異なる隣接関係のもとに混在集積して理想の建築都市を展開します。博物学的な視点からは、建築の生成時期、建設場所、主要機能、形態特性、設計者といった属性別に建築を流動的に通覧することが可能です。同時に、特に提案型建築の展示においては、現在の問題意識に基づいた建築の新たな可能性を提示することが期待されます。オープンラボを介して進化する「模型の博物都市」は、類例のない展示形式といえます。

(※UMUT: The University Museum, The University of Tokyo 東京大学総合研究博物館の英文略称)

- 開催場所： ・ 東京大学総合研究博物館
 - ・ 東京大学本郷キャンパス内(東京都文京区本郷7-3-1)
- 展示期間： ・ 2008年7月26日(土)-2008年12月19日(金)(※10月1日以降は常設展示)
- 休館日： ・ 9月30日まで(特別展示期間中)は、月曜休館(祝日の場合は翌日火曜休館)
 - ・ 10月1日以降(常設展示期間中)は、土曜・日曜・祝日休館
 - ・ 臨時休館日：8月14日(木)-8月17日(日)および9月7日(日)
- 開館時間： ・ 10:00-17:00(ただし入館は16:30まで)
- 入館料： ・ 無料
- アクセス： ・ 都営地下鉄大江戸線「本郷三丁目」駅より徒歩2分
 - ・ 東京メトロ丸の内線「本郷三丁目」駅より徒歩5分
- 協力： ・ 光栄堂、レモン画翠

ハローダイヤル：03-5777-8600

UMUTオープンラボ展では、レクチャやワークショップなど各種のイベントを実施します。

詳しくはホームページをご確認ください。 <http://www.um.u-tokyo.ac.jp/openlab/>

同時開催 常設展示 UMUTアラカルト展

※休館日、開館時間等はUMUTオープンラボ展に準じます。

展示概要:東京大学が全世界から集めた希少な自然史資料を紹介します。骨、鉱物、化石、貝類、植物等を対象に130年以上の歳月をかけて収集されたコレクションの歴史と蓄積を示す展示です。